

# 2017年度萩博物館展示案内

2017

4月

特別展

## 高杉晋作の決意 ー明治維新への助走ー

4月14日(金)～5月7日(日)

幕末、西洋列強の支配を受ける中国・上海を視察した高杉晋作は過激な攘夷運動の急先鋒と化して行きます。「明治維新」の大きな原動力となった西洋排撃の決意の軌跡を、晋作の上海日記「遊清五録」、血盟書、書簡などでたどります。



高杉晋作と御橋組血盟書

5月

企画展

## 萩・夏みかん物語Ⅱ

5月13日(土)～6月11日(日)

「土堀と夏みかん」の景観はどのように形づくられたのでしょうか。明治維新の後、萩の人々を支え続けてきた夏みかんについて再発見します。



6月

特別展

## 驚異の遭遇! 未確認生物

6月24日(土)～9月3日(日)

「未確認生物」とは、ツチノコ・ヒバゴン・カッパなど未だ科学的に解明されていない生物のこと。日本や萩ではどんなものがどのように目撃されてきたのでしょうか?証言や資料を紹介しつつ正体や実在性に科学的に迫る、夏休みのファミリー向け展示会です。



ヒバゴン復元像(庄原市役所西城支所蔵)

9月

9月8日(金) 臨時休館

企画展

## 没後100年記念企画展「日本の工学の父 山尾庸三」

9月16日(土)～12月3日(日)

幕末、英国に密航留学し、維新後、工部大学校(現東京大学工学部)の創設に携わった山尾庸三。日本の工学教育の基盤形成に尽力したことから「工学の父」と称されます。平成28年(2016)萩市に寄贈された山尾家の資料を初公開し、「長州ファイブ」の一人、庸三の人物像にせまります。



山尾庸三

10月

11月

12月

企画展

## 萩の鉄道ことはじめ

12月16日(土)～平成30年4月8日(日)

近代化の象徴である鉄道は萩に何をもたらしたのでしょうか。日本の鉄道の父・井上勝をはじめとした鉄道技術者や時刻表創刊者など、萩ゆかりの人々が鉄道を通じて日本の近代化に貢献していったことに触れつつ、萩と鉄道のかかわりを多角的に紹介します。



吉田初三郎、  
中四国鳥瞰図(部分)

2018

1月

2月

3月

4月

※年中無休(ただし、9月8日(金)のみ臨時休館)

※展示会の名称・会期等は、予告なく変更されることがあります。

# リニューアル!

## いきもの発見ギャラリー

萩の広大な海と大地にすむ鳥・昆虫・魚・貝などの標本約4千種類・2万点以上がギッシリ! 昭和初期の博物学者・田中市郎(1877-1946)が集め、萩の歴代の博物館の礎となった標本も公開。標本に親しみ、調べ、さらなる探求の拠点となる萩で唯一の「ヴァンダーカンマー」(驚異の博物陳列室)です。

「ザ・シェリング・バー」で好きな貝を探そう  
(時期により休止の場合あり)



## 高杉晋作資料室

### 松陰門下の三秀

吉田松陰は門下生のうち晋作、久坂玄瑞、吉田栄太郎(稔麿)が、自分にとり「良薬」であると述べています。若くして非業に散った玄瑞、栄太郎の史料から、その人物像の魅力を探ります。



久坂玄瑞

## テーマ展 エントランス展示

まちじゅう博物館へのいざない  
世界文化遺産へのいざない  
日本ジオパークへのいざない

## 須佐歴史民俗資料館「みこと館」

### 「幕末・明治維新を支えた 須佐の偉人展」

〒759-3411 山口県萩市大字須佐4441番地10  
TEL 08387-6-3916 FAX 08387-6-2030



## 阿武川歴史民俗資料館

### 常設展示 テーマ展「湖底のふるさと」

〒758-0141 山口県萩市川上小市ヶ谷 TEL 0838-54-2024

# 萩博物館

〒758-0057 山口県萩市大字堀内355番地  
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)  
TEL:0838-25-6447 FAX:0838-25-3142  
URL:www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/  
f https://www.facebook.com/hagihakufan/  
E-mail:muse@city.hagi.lg.jp

